

237

災害に強い健康長寿のコミュニティモデルの構築

取組主体【掲載年】	法人番号	事業者の種類【業種】	実施地域
日本で・あーて TE・ARTE 推進協会 【平成 27 年】	5011805002282	サブライ関連事業者 【医療, 福祉】	宮城県

- 首都圏と宮城県在住の退職している看護師ら有志が、東日本大震災の発災直後より中長期ケアの重要性を予測し、任意団体を立ち上げた。平成 25 年 4 月には一般社団法人日本で・あーて推進協会を設立し、拠点となる東松島市に「て・あーて東松島の家」を創設した。同協会では、仮設住居者の心の支えになる活動としてお隣さんづくりを実施し、並行して、住民が健康長寿で生きていくためのプログラムの実施とその支援者となる看護師の研修を行っているとともに、東松島市の仮設住宅における「こころと体のケア事業」「地域活性化復興モデル事業」にも取り組んでいる。
- 同協会では、平成 23 年 9 月より、以下の 4 つを目的として活動している。
 - ①個人或いは家族が自主的な健康・養生法をマスターし、暮らしの中で実行できるようにする。
 - ②高齢者の力を東松島の文化・伝統を尊重した生活モデルの構築に活用する。
 - ③相互交流の機会を高めることにより、「近助力」を強める。
 - ④健康レベルの向上により、要支援・介護レベルの進行を防ぎ高齢者自身の生き甲斐を高める。